

両国まちあるき瓦版 其の陸

～ぐるり、めぐり、ごくり、きらり、びっくり、やはり、りようごく～

★北斎通りを彩る秋の祭典！（10/25, 26）

今年も、両国・亀沢地区の地域祭である“第20回北斎祭り”が開催されます。すみだ北斎美術館が弘前藩津軽家の上屋敷跡地に建つことつながりから、25日の土曜日には北斎通りで壮観の“弘前ねぶた”が運行されます。また、両日ともすみだ北斎美術館や緑町公園でもさまざまなイベントが企画されています。そこで今回は、その魅力について紹介していきます！

○弘前藩津軽家上屋敷について

“弘前藩”は、江戸時代に陸奥国の津軽地方（現在の青森県西部）にあった藩で、藩庁は弘前城。石高10万石の外様大名で、藩主は津軽家だった。

その上屋敷は、幕末まで区内に残った数少ないもので、現在の北斎美術館や緑町公園を含み、京葉道路の付近に至る広大なもの。下屋敷も現在の北斎通りから大横川親水公園を越えた錦糸一丁目付近にあり、その跡地には“津軽稲荷神社”が残されている。

また、“本所七不思議”の一つに“津軽の太鼓”という民話も残っている。

○“ねぶた”と“ねぶた”そして“立佞武多”

青森県内で行われる夏祭りの“山車”を指す言葉でも、地域によって呼び名や造形、掛け声、踊り手が異なる。“ねぶた”は弘前市、“ねぶた”は青森市、“立佞武多（たちねぶた）”は、五所川原市の祭りのことを指す。それぞれ造形は、“扇型の平面に武者や美人画”“立体的な武者人形で横長”“高さ23メートルにもなる縦長”が特徴。県内には、その他にもさまざまなご当地ねぶたがあり、県内で伝統的に行われてきた“ねむり流し”という、夏の農作業における眠気や怠け心などを流す行事が起源とされている。

○第20回北斎祭りについて

ー10/25（土）ー

●ワークショップ・展示

@すみだ北斎美術館 MARUGEN100（講座室）

●飲食・演舞・演奏／開会式@緑町公園

●弘前ねぶた運行@北斎通り

ー10/26（日）ー

●ワークショップ@すみだ北斎美術館 MARUGEN100（講座室）

●その他（移動式あそび場“からふる号”

・墨田区観光プロモーションカー）@緑町公園

北斎通りまちづくりの会 清水会長から一言

地元のメインイベントであります北斎祭りの季節がまいりました。灯り、安田学園吹奏楽部による演奏、弘前市のねぶた巡業、江川太郎左衛門の関係者による火縄銃の実演も規模を増し、すべて昨年を上回る内容でお待ちしております。是非お越しください。



☆イベントの詳細や北斎通りまちづくりの会の活動内容は、こちらから↓



○北斎通りについて

北斎通りは、清澄通りから大横川親水公園を越えて錦糸町の際にある横十間川まで続く全長約2キロメートルの道を指す。

この通りには、かつて“本所割下水”と呼ばれる用水路が流れていた。これは、1657年の明暦の大火をきっかけに隅田川左岸の湿地帯を開拓するために造られた堀割のひとつ。建築資材を船で運ぶ運搬路でもあった。ちなみに“北割下水”があった場所は現在の春日通りで、“南割下水”が北斎通りにあたるが、こちらはシンプルに“割下水”とも呼ばれていた。



関東大震災後に埋め立てられ、“やっちゃ場通り”“南割下水通り”“ファッションストリート”などと親しみを持って呼ばれたのち、葛飾北斎の生誕地であることにちなみ、1999年（平成11年）に“北斎通り”となった。

とくに、両国側の約1キロメートルには、“北斎ギャラリー”と称して、街路灯、公衆トイレ等に北斎作品を多数掲示されている。つまり、街歩きにぴったり！

★いよいよ登場するかも！（11/3-16）



現在放送中、NHKの大河ドラマ“べらぼうー 篤重栄華乃夢嘶”に、葛飾北斎がいよいよ登場するかも！そこで、すみだ北斎美術館 MARUGEN100（講座室）では、11月3日から16日までの間、ドラマにちなんだ特別展示を行います。“番組紹介パネル”“出演者のビジュアルバナー”“番組に関連した展示”などを行う予定です。テレビで目にしたアレコレをその目でお確かめください。美術館で24日まで開催中の企画展“北斎をめぐる美人画の系譜—名手たちとの共演—”ともどもお楽しみください。（ただし、11月4日、10日は、休館日となります。）

★両国で奏でるすみだジャズの調べ！（10/18,19）

今年で15周年を迎えた“すみだストリートジャズフェスティバル”は、お隣の錦糸町を中心に10月18日（土）と19日（日）開催されます。両国エリアでも“両国駅広小路”や錦糸町と中間に位置する“大横川親水公園イベント広場”にステージが設けられます。せっかくの機会なので、北斎通りを歩いて両国と錦糸町の街を“SWING”しちゃいましょう！



★一般の方もお待ちしております！（11/21）

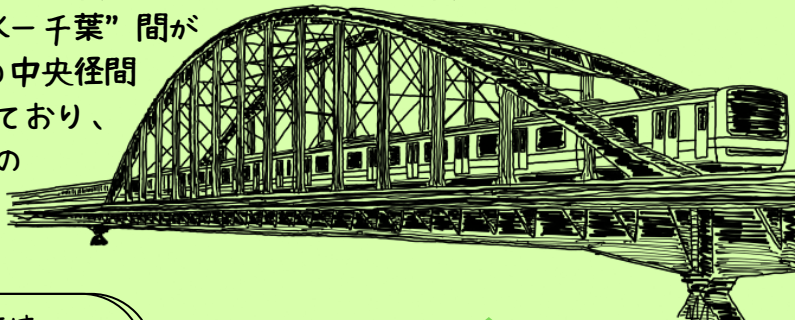


11月21日（金）に両国国技館で、東京東信用金庫主催の第25回を迎える“ひがしんビジネスフェア2025”が開催されます。中小企業の優れた商品・技術を集め、新たな出会いを通じてビジネスチャンスを生み出すことを目的に催されます。全国の物産の展示販売、音楽・スポーツ体験など、さまざまな出展があるので、一般の方も大歓迎のイベントです。もちろん入場無料です！

★ついに、隅田川橋梁もライトアップ！

JR総武線の専用鉄道橋である“総武本線 隅田川橋梁”の夜間ライトアップが9月29日から始まりました。（日没から23時まで。）街に溶け込んだ“通常演出”に加え、両国国技館の土俵の屋根の四隅を飾る守護神をモチーフにした4色の“正時演出”や、他にも“特別演出”が行われます。

この橋が完成したのは、総武線“御茶ノ水—千葉”間が全面開通した昭和7年（1932年）です。橋の中央径間は、日本初の“ランガー桁方式”を採用しており、両側径間は下路プレートガーダーをアーチのはね出し桁に載せた架け違い構造になっています。照射された構造美をご堪能あれ。



☆紙面で紹介した具体的な場所などについては、お得な特典付“両国にぎわいMAP”を参照してください。印刷したMAPは、両国観光案内所などで配布しています。

☆墨田区観光協会では、両国をはじめとする“本物が生きる街すみだ”について、地元ガイドによる“まち歩きガイドツアー”を実施しています。



☆江戸博では、リニューアル工事中も、さまざまな催しなどを実施しています。国際ファッションセンター1階ショーウィンドーでの展示も開始しました！

エドハク
リニューアルオープンまで、
あと、5か月 くらい

- 両国まちあるき 互版_其の陸 (Vol.6_2025.10) ☆その他の両国まちあるき情報やバックナンバーなどは、こちらに掲載しています↓
- 発行・問合せ：墨田区産業観光部観光課
KANKOU@city.sumida.lg.jp / 03-5608-6500
- 協力：墨田区観光協会/両国協力会/墨田区銘品名店会

